

ファッション流行情報:2007~08年秋冬傾向

2007~8 AUTUMN & WINTER IMAGE POINT

■2007~08年秋冬は、こだわり志向が増大■

07~08年秋冬に訴求されるイメージを解説します。

1) 注目したい事柄

- LOHAS/自然志向が浸透します。そのため内面的な要素を重視した存在感あるものが求められます。
- エレガンス路線が急伸、カジュアルー辺倒からの脱却が見られます。06年秋からのプリティッシュ・モダンの流れは、80年代のパワー・サクセス・スーツを。メトロ・セクシャルな感覚は、グラマラスやダンディズムなモードを呼び起こすなど、様々なドレスアップ感が台頭できます。
- 07年から始まる「団塊世代」のライフスタイル変化は、新たな商品構成や情報を発生させます。
- 日本の良さを認識する、新旧の世界適用素材が訴求されます。
- その他の注目要素として、ニュー・シニア・カジュアル、ユニセックス、フォーマル、アーリー・アメリカンなどが再考されます。

2) 色彩

- 色相:赤系が大きく増加し、秋冬らしい暖色系が躍進します。ニュートラル系は継続です。
- 色調:低明度のブラキッシュ~ブラック~ディープ~ビビッドという、色みを感じさせる色調が復活します。
- 配色:大胆な色使いがポイントになるシーズンで、コントラスト配色やバイ・カラー配色が用いられます。
- 注目:赤みのオレンジ、レモンイエロー、ブルー系。

3) 素材

- 原料・糸:ウールライクな天然繊維や機能性を追及したハイテク素材が用いられます。注意点は高度
- タッチ:しなやかなハリコシ。温もりのある微起毛。クリーンで滑らかな素材。
- 質感:フラット&ソリッド。ポリウム&軽さ。マッド&シャイニー。コンパクト&クリスピー。
- 加工処理:プリーツ、レリーフ、メタリック加工など。

4) 柄

- オーガニックな柄:マイクロ・ジャカードやミニ幾何柄の表現。
- クラシック柄:古風な先染めやジオメトリック柄。ロシア構成主義のポスター柄。プリティッシュ的な柄域。アールデコ~バウハウス時代のモダニズム柄など。
- 都会の中の様々な表示柄:信号、記号、ロゴ字。
- 植物柄:東欧東的なフォークロア柄。中国や日本風のモチーフ。素朴さや手書き調の稚拙な柄。

5) スタイリング

- スーツ&セットアップ:トータル・イメージが確立しやすいプリティッシュ・モダンなど。
- ナチュラル・フィット。
- イージーな着こなしやレイヤード感を一掃する一着のスタイリッシュを求めたニュー・ストレートやニュー・コンフォート。きっちりとした着こなしへ進展。

事業化支援部〈墨田支所〉 嶋 明

TEL 03-3624-4049

E-mail:shima.akira@iri-tokyo.jp

《2007~08年秋冬のイメージ》



TIRI
News

2006年特大号 通巻8号

発行日/平成18年11月20日(毎月1回発行)

発行/地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター

総務部 情報システム課 広報係

〒115-8586 東京都北区西が丘3-13-10 TEL03-3909-2151 内275

企画・印刷/秀研社印刷株式会社

(転載・複製をする場合は、情報システム課広報係までご連絡下さい。)